

令和2年度版

亀小スタンダード

学びのきほん

家庭学習の手引き



本校の『学び・家庭学習の基本』です。



海南省立亀川小学校

学びのきほん



1. 学習に必要な持ち物

◆毎日の学習に必要な持ち物です。名前を忘れずに書きましょう。

【筆箱の中に】 *筆箱や鉛筆はできるだけ無地かシンプルなデザインにしましょう。

(低学年はハードタイプの筆箱を使いましょう)

□けずった鉛筆5~6本 (1年生…6B 2年生…2B 中学年…2BかB 高学年…Bが目安です。)

*短くなった鉛筆は、家で使いましょう。 (□鉛筆けずり)

□消しゴム □定規 □ネームペン

□赤と青の色鉛筆 (4年生以上は赤ペンと青ペンでも可) ※他の色ペンや多色ペンは持てこない。

【お道具箱の中】

□のり □はさみ □色鉛筆 □クレパス (1~3年生) □セロテープ □三角定規 (2年生以上)

□コンパス (3年生以上) □分度器 (4年生以上) □学年別で必要なもの

2. 伝え合う

◆人の話を聴いたり、自分の考えを伝えたりすることで、学習内容の理解が深まります。

①聴く（「目」と「耳」と「心」でしっかり相手の話を受けとめることです。身に付けていきましょう。）

- （目）話す人の方を向いて聴く。
- （耳）最後まで話を聴く。
- （心）「なるほど」と思ったり、自分と同じ考えだったりした時は、うなずきながら聴く。



②伝える

- みんなに聞こえる大きさの声で話す。 ○きちんと立って話す。
- みんなの方を向いて話す。 ○最後まで話す。

◎身に付けたい発表の仕方（話型）

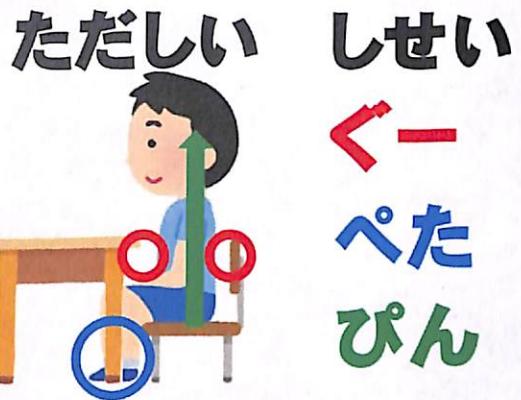
- わたしは（ぼくは）～だと思います。
- ～さんの考えに さんせいです。（にています。）
- ～さんの考えに はんたいです。（ちがいます。）
- わけは～だからです。
- ～さんに つけたします。
- ～さんに しつもんがあります。
- ～について おしえてください。



3. 学習に向かう姿勢

◆学習の基本として、次のことに気を付けましょう。

- 手を挙げるときは、指先まで「ピン」としっかり伸ばす。
- 返事は、はっきり「はい」。
- 席をはなれるときは、いすを入れる。
- 次の時間の教科書やノートを机の上に準備してから休む。



ノートの使い方

◆次の点を基本とし、学年に応じた方法でノートを使いましょう。

1. ノートと筆記用具について

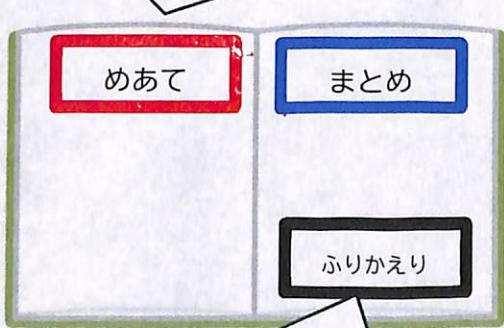
- ◎ノートのサイズ、マス目の大きさは、学校側で指定したりアドバイスしたりします。
学年に合ったものを使用しましょう。
- ◎下書きを使用します。学校では、できるだけ無地かシンプルなデザインの下書きを使いましょう。

■机の上には、ノート、教科書、下敷き、筆箱

2. ノートに書くときは

- ◎先生の話をよく聴き、黒板と同じようにノートに書きましょう。

〈黒 板〉	〈ノート〉
日にちや曜日を書く	→ 約束の場所に書く
めあてや課題を書く	→ 赤で囲む
まとめを書く	→ 青で囲む
ふり返りを書く	→ 黒で囲む



3. その他の約束

- ◎学習の集中をさまたげるような、消しゴム（形や香り）や蛍光ペンは使いません。
学習に不必要なものは持ってきません。
- ◎算数の文章題の筆算は、消さずに残しましょう。
- ◎テストのなおしは、消さずに、赤鉛筆や赤ペンで直しましょう。
- ◎見やすいノートづくりを心がけます。必要なコメントなどを書けるようにしましょう。
- ◎プリントをはるときは、はみ出さないようにはりましょう。
- ◎ふり返りを書いて、その時間の自分の取り組みを評価しましょう。

家庭学習の手引き

① 家庭学習の手引きについての考え方

小学校の学習は、将来、児童が社会人として自立するための基礎となる大切なものです。学校では、学習内容が定着するように努めて指導していますが、家庭学習を通して家庭との連携を図ることで、定着はより確かなものになると考えます。ご家庭と学校との共通理解のもと、自立の基礎となる学力の定着を目指していきたいと思います。ご協力を賜りますよう、お願ひいたします。

② 家庭学習を通して育てたい子どもの姿

- 生活時間的有效に使うことができる児童
(一日の生活の中に、勉強や読書、手伝いの時間を必ずもちましょう。)
- 家庭学習の習慣や方法を身に付け、学習に取り組むことができる児童
- 計画的・継続的な学習を通して、基礎的・基本的な学習内容を身に付けることができる児童

③ 基礎的・基本的な学習内容とは

主として学校で学習する内容（教科書に掲載されている内容）です。特に、次のような技能は、各学年でつながりをもっていますので、それぞれの学年で確実に身に付けておきたいことです。

- 教科書に出ているような文章をすらすら読むこと
- 教科書に出てくる漢字を読んだり書いたりすること
- 教科書に出てているような算数の問題を解くこと



④ 家庭学習の習慣を身に付けるために

(1) 習慣化のためのポイント

- ①時間を決めて、毎日同じ時間に学習する
- ②テレビを消して、集中して学習する
- ③中学年以上の児童は、学習後の「答え合わせ」も自分でやる

☆『ご家庭での声かけを大切に』

- お子さんが学習していることに関心をもち、励ましてあげてください。
- お子さんが尋ねてきたら、できる範囲で結構ですのでアドバイスをお願いします。
- がんばった成果（ノートやプリント）に目を通し、努力を認めてあげてください。

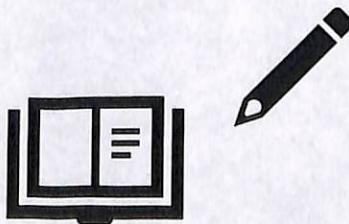
☆『答え合わせをする意味』

答え合わせは、「正解・不正解」を確かめるだけの活動ではありません。学習内容の理解に関わる重要な活動です。「不正解」だった問題については、「どこが違っているのか」、「どうして違ってしまったのか」をていねいに探ることにより、自分の理解度やつまずきを知ることができます。十分でなかったところに再チャレンジすることによって「確かな定着」へつながっていきます。間違いを直すことができなかつたところについては、学校で先生や友達に尋ねてできるようにすることが大切です。

(2) 全学年共通の重点

「めあて」を決めて、スタート

- ☆ 今日は「何を勉強するか」、「どう勉強するか」を自分で決めて取り組んでいけるように指導し、励まします。
- ★ ノートに「めあて」を書いて勉強を始めます。



「ふり返り」を書いて、ゴール

- ☆ めあてに対して、自分ががんばりや取り組みはどうだったか、ふり返ります。
- ★ ノートの最後に「ふり返り」を書きます。





(3) 家庭学習の時間のめやす

学年×10分 (6年生なら 6×10=60分)

あくまでも「めやす」としてとらえてください。また、休日や夏休み・冬休みなどは、自由研究や作品づくり等を取り入れ、さらに学習時間を増やしていくとよいでしょう。(学年のページに、めやすの学習時間を記載しています。)

(4) 学年の発達段階による家庭学習に向かう姿

低学年	中学生	高学年
<ul style="list-style-type: none">学校の宿題ができる。宿題以外の自主的な学習が少しづつできる。少しづつ自分で答え合わせができる。	<ul style="list-style-type: none">学校の宿題が確実にできる。宿題以外の自主的な学習に取り組むことができる。自分で答え合わせができる。	<ul style="list-style-type: none">計画的に家庭学習に取り組むことができる。自分の課題に気づきどんなことに取り組むかを考え、学習することができる。自分で答え合わせができる。

⑤ 学習したことを定着させるために

研究によれば、家庭学習の後にゲームなどに没頭すると、学習した内容の定着率が低くなるという結果が出ています。家庭学習が終わったからといって、長時間テレビを観たりゲームで遊んだりせず、「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムが身に付くよう、家庭での指導をお願いします

1 ねんせいのかていがくしゅうについて

もくひょう

- いえにかえったら、すぐにべんきょうしよう。
- まいにち **10** ぶんいじょうは、がんばろう。
- やすみのひやなつやすみ、ふゆやすみなどは、20 ぶんいじょうがんばろう。
- てれびをみないで、べんきょうしよう。

こんなないようを こんなやりかたで やってみよう

がくしゅうないよう	やりかたのれい
① こくごのがくしゅうや れんしゅう	<ul style="list-style-type: none">・ドリルの おてほんのじを よくみて ていねいに かきます。・「とめる」、「はねる」、「はらう」に きをつけて かきます。・こくごのテストや プリントのもんだいを ノートにかいて ちょうせんします。
②さんすうのがくしゅうや けいさんのれんしゅう	<ul style="list-style-type: none">・ドリルの もんだいを よくよんで やります。・さんすうのテストや プリントのもんだいを ノートにかいて ちょうせんします。

☆時期を見ながら、宿題と自主学習に取り組んでいきます。

☆自主学習の進め方については、後日、ご連絡いたします。



- ①おたよりをかぞくのひとにみせましたか。
- ②しゅくだいは、おわりましたか。
- ③あすのじかんわりのよういをしましたか。

2年生の家で学しゅうについて

もくひょう

- 家にかえったら、すぐにべんきょうしよう。
- まい日20分いじょうは、がんばろう。
- めあてを書いて、じぶんできめた学しゅうにとりくもう。
- 休みの日や夏休み、冬休みなどには、30分以上がんばってみよう。

こんなないようを こんなやり方で やってみよう

2年生はしゅくだいのほかに「じしゅ学しゅうノート」のべんきょうもがんばります。先生のアドバイスをきいて、下のような学しゅうにとりくみましょう。

学しゅうないよう	やり方のれい
①国語の学しゅうや かん字のれんしゅう	<ul style="list-style-type: none">・かん字ドリルをつかって学しゅうします。ていねいにかきます。 やり方1) 5回ずつなど、きめたかいすうずつれんしゅうする。 やり方2) 同じかん字をノートに1ぎょうずつれんしゅうする。 やり方3) 読みがなを見てテストのようにかいてみる。 そのほか) 先生からのアドバイスのほうほうでやる。・国語のテストやプリントのもんだいをノートにもういちどやってみます。
②算数の学しゅうや 計算のれんしゅう	<ul style="list-style-type: none">・計算ドリルをつかってもんだいをときます。・前にやったことのあるもんだいは、答えを合わせます。まちがえていたらなおします。・算数のテストやプリントのもんだいをノートにもういちどやってみます。・じゅぎょうでべんきょうしたことをきょうか書やノートでたしかめて、同じようにべんきょうします。
③日記をかく <small>にっき</small>	<ul style="list-style-type: none">・心にのこったことを中心に、くわしくかきます。

- ①おたよりを家ぞくの人見せましたか。
- ②しゅくだいは、おわりましたか。
- ③あすの時かんわりのよういをしましたか。



3年生の家庭学習について

目次

- 家に帰ったら、すぐに学習しよう。
- 毎日30分以上は、学習しよう。
- めあてを書いて、自分で決めた学習に取り組もう。ふり返りでがんばりをたしかめよう。
- 休みの日や夏休み、冬休みなどには、45分以上がんばってみよう。

こんなないようを こんなやり方で やってみよう

3年生はしゅくだいのほかに「自主学習ノート」のべんきょうもがんばります。先生のアドバイスを聞いて、下のような学習にとりくみましょう。

学習ないよう	やり方の例
①国語の学習や漢字のれん習	<ul style="list-style-type: none">・漢字ドリルをつかって漢字をれんしゅうする。 やり方1) 5回ずつなど、決めた回数ずつれんしゅうする。 やり方2) 習った漢字を使って言葉や文にしてれんしゅうする。 やり方3) 読みがなを見てテストのようにかいてみる。・国語のテストやプリントの問題をノートにもういちどやってみる。
②算数の学習や計算のれん習	<ul style="list-style-type: none">・計算ドリルをつかって問だいをとく。・前にやったことのある問題は、答えを合わせる。まちがえていたらなおす。・算数のテストやプリントの問題をノートにもういちどやってみる。・授業で勉強したことを教科書やノートでたしかめて、同じように書いてみる。・教科書の練習問題や力だめしなどをノートに書いてチャレンジする。
③理科や社会の復習	<ul style="list-style-type: none">・じゅぎょうで勉強したことをふく習したり、大切なところをまとめたりする。

- ①おたよりを家の人に見せましたか。
- ②しゅく題は、おわりましたか。
- ③あすの時かんわりのよういをしましたか。



4年生の家庭学習について

目標

- 毎日40分以上は、集中して学習しよう。
- めあてを書いて、自分で決めた学習に取り組もう。めあてについてふり返りを書いて、自分の取り組みをたしかめよう。
- 休みの日や夏休み、冬休みなどには、60分以上がんばってみよう。

こんな内容を こんなやり方で やってみよう

4年生は宿題のほかに「自主学習ノート」の勉強もがんばります。先生のアドバイスを聞いて、下のような学習に取り組みましょう。

学習ないよう	やり方の例
①国語の学習や漢字の練習	<ul style="list-style-type: none">・漢字ドリルをつかって漢字を練習する。 やり方1) 5回ずつなど、決めた回数ずつ練習する。 やり方2) 習った漢字を使って言葉や文にして練習する。 やり方3) 読みがなを見てテストのように書いてみる。・国語のテストやプリントの問題をノートにもういちどやってみる。
②算数の学習や計算の練習	<ul style="list-style-type: none">・プリントや計算ドリルをやってみる。前にやったことのある問題は、答えを合わせる。まちがえていたら正しく直す。・算数のテストやプリントの問題をノートに書いてとく。・授業で勉強したことを教科書やノートでたしかめて、同じように書いてみる。・教科書の練習問題や力だめしなどをノートに書いてチャレンジする。
③理科や社会の復習	<ul style="list-style-type: none">・授業で勉強したことをふく習したり、大切なところをまとめたりする。

- ①おたよりを家の人に見せましたか。
- ②宿題は、終わりましたか。
- ③あすの時間わりのよういをしましたか。



5年生の家庭学習について

目標

- 毎日50分以上は、集中して学習しよう。
- 自分に必要な学習を考えて、めあてをもって取り組もう。めあてに対するふり返りを書いて、自分の取り組みを評価しよう。
- 休みの日や夏休み、冬休みなどには、70分以上がんばってみよう。

こんな内容を こんなやり方で やってみよう

5年生は宿題のほかに「自主学習ノート」の勉強もがんばります。先生のアドバイスを聞いて、下のような学習に取り組みましょう。

学習内容	やり方の例
①国語の学習や漢字の練習	<ul style="list-style-type: none">・漢字ドリルを使って、正かくに、ていねいに1行ずつ練習する。＊送りがなや書き順に気をつける。・新出漢字や苦手な漢字を熟語で練習する。・国語のテストやプリントの問題をノートに再チャレンジ。
②算数の学習や計算の練習	<ul style="list-style-type: none">・計算ドリルを使って、計算の練習をする。前にやったことのある問題は、答えを合わせる。まちがえていたら直す。・算数のテストやプリントの問題をノートに再チャレンジ。・教科書の練習問題や力だめしなどをノートに書いて取り組む。
③その日の授業の復習	<ul style="list-style-type: none">・その日に授業で学習した内容を、教科書やノートを見ながらもう一度やってみる。
④理科や社会の復習	<ul style="list-style-type: none">・授業で学習したことを復習したり、大切なところをまとめたりする。
⑤他の問題集を活用する	<ul style="list-style-type: none">・ドリル等とやり方は同じ。必ず答え合わせをする。・発展問題にも取り組もう。

- ①お便りを家の人見せましたか。
- ②宿題は、終わりましたか。
- ③明日の時間割の用意しましたか。



6年生の家庭学習について

目標

- 毎日60分以上は、集中して学習しよう。
- 自分に必要な学習を考えて、めあてをもって取り組もう。めあてに対するふり返りを書いて、自分の取り組みを評価しよう。
- 休みの日や夏休み、冬休みなどには、80分以上がんばってみよう。

こんな内容を こんなやり方で やってみよう

6年生は宿題のほかに「自主学習ノート」の勉強もがんばります。先生のアドバイスを聞いて、下のような学習に取り組みましょう。

学習内容	やり方の例
①国語の学習や漢字の練習	<ul style="list-style-type: none">・漢字ドリルを使って、正かくに、ていねいに1行ずつ練習する。＊送りがなや書き順に気をつける。・新出漢字や苦手な漢字を熟語で練習する。・国語のテストやプリントの問題をノートに再チャレンジ。
②算数の学習や計算の練習	<ul style="list-style-type: none">・計算ドリルを使って、計算の練習をする。前にやったことのある問題は、答えを合わせる。まちがえていたら直す。・算数のテストやプリントの問題をノートに再チャレンジ。・教科書の練習問題や力だめしなどをノートに書いて取り組む。
③その日の授業の復習	<ul style="list-style-type: none">・その日に授業で学習した内容を、教科書やノートを見ながらもう一度やってみる。
④理科や社会の復習	<ul style="list-style-type: none">・授業で学習したことを復習したり、大切なところをまとめたりする。
⑤他の問題集を活用する	<ul style="list-style-type: none">・ドリル等とやり方は同じ。必ず答え合わせをする。・発展問題にも取り組もう。

- ①お便りを家の人見せましたか。
- ②宿題は、終わりましたか。
- ③明日の時間割の用意しましたか。



自分をもつと成長させる「自主学習」

【例】

